

令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録要旨

I. 開催概要

開催日時：令和7年11月1日（土）午前9時～11時

出席者 学校運営協議会委員（出席4名欠席2名 過半数の出席）

江原美紀 委員長（後援会長）

大高千尋 委員（同窓会関係者）

河原正哉 委員（企業関係者）

小澤紀子 委員（PTA会長）

静岡城北高等学校

校長 渡辺賢一

副校長 塚本裕之

教頭 山田光俊

事務長 大坪淳子

総務図書課 吉川契子

主な議題：

校内授業見学

会長・校長あいさつ

学校概況報告

学校の取組と生徒募集に関する意見交換

2. 校長報告

(1) グローバル教育の推進

- ・国際交流：米国ロスアラミitos高校からの生徒25名を受け入れ。グローバル科に限らず普通科も含め全校でバディ対応を実施し、授業内外で交流を展開。
- ・グランドデザインの変更：「5つの力」の一つを今年度より「英語力」から「グローバル力」へ改称し、異文化理解・国際協調の総合力育成を強化。
- ・多様な留学生・聴講生の積極的な受入・派遣：長期（台湾・ラトビア）・短期（フランス・カナダ・ドイツ）の受入れなどにより、日常的に異文化体験がある学習環境を形成。また、約10名の生徒が短期留学を行い、また、長期留学からの帰国生（米国・ハンガリー）が在籍することにより、自然に国際交流が行われる学校文化が醸成。これらを基盤として、普通科とグローバル科を併設する県下唯一の公立高校という強みを活かし、グローバル教育を推進。

(2) 高校授業料無償化への対応(令和8年度実施)

- ・令和8年度からの授業料無償化により、公立高校の生徒募集への影響が不透明。
- ・公立高校のさらなる魅力化の必要性を踏まえ、本校のスクールミッション・ポリシーに即した「選ばれる学校」づくりの具体策について、委員からの率直な意見を求めた。

3. 意見交換の概要

テーマ:「中学生・保護者に『選ばれる学校』になるには?」

(1) 学校の取組(発信力の強化)

- ・強みの最大化と可視化:グローバル教育等の強みを保護者層に届く手段で継続発信(Instagramに加え、紙媒体/地域広報/学校HPの特集ページ等)。
- ・メディア露出の拡大:区役所・県の記者室への積極的なリリース提供を推奨。地域で「城北高校」の名称露出を増やす重要性を強調。
- ・生徒主体の話題づくり:生徒主導の活動(例:クラウドファンディング等)は拡散性が高く、広報資源として有効との評価。

(2) 「選ばれる学校」への具体策(案)

ア. 生徒主体の発信・活動の強化

- ・生徒が学校の将来を議論するシンポジウムを開催し危機感を共有。生徒主導のSNS広報体制を整備。生徒アンケートで「城北に来てよかったこと」を抽出し強みに転換。

イ. 地域連携と伝統の活用

- ・公立の強みである「伝統」を基盤に、幼稚園への英語指導等の地域貢献、介護施設・企業との連携やインターンシップを通じ、地域からの応援と協賛・寄付を検討。

ウ. 学習・活動環境の整備

- ・校内掲示を充実し、生徒の頑張りを来校中学生に可視化。昼食提供の充実(弁当業者導入等)や自販機整備、空き教室を交流型スペース(カフェ風)へ改裝。少人数学級の検討も魅力化要素。

エ. 外部人材の活用と活動の記録

- ・企業・大学生等のサポート受入れ。ボランティア等の活動ポートフォリオを継続的に蓄積する仕組み。

(3) 総括

- ・授業料無償化時代の募集環境の厳しさを共有し、本校の強みであるグローバル教育を軸に、「生徒主導による内側からの魅力化」と「積極的な外部への発信力強化」の必要性に関して共通認識が得られた。